合ニ於テ企業者ニ對スル爭議ヲ惹起スルヤ
直ニ本部ニ向ケ應援ヲ求ムルヲ常トシ本部ヨリハ
幹部員等出張シテ或ハ企業主側
ノ嫌忌スルニ拘ラス労資両者ノ間ニ介入シテ
労働者側ノ主張ヲ固執シ或ハ講演會
ヲ開テ労働者ノ不平ヲ助長促進スルニ努
メ其ノ結果時ニ或ハ暴動化スルコトサヘアリ即
チ大正八年中日本労働総同盟員ノ惹起シ

タル日立鉱山ノ騒擾事件ノ如キ又大正十年
ニ於ケル神戸川崎造船所労働爭議ニ際
シ起レル騒擾事件ノ如キハ其ノ一例ナリ
斯ノ如ク労働團體自ラ爭議ノ当事者タ
ル外又時トシテハ労働團体ニ加盟ヲ条件
トシ他ノ爭議ニ介入シテ労働者側ヲ應援
ニ以テ勢力ノ拡張ヲ圖ルコトアリ即チ大正九
年中三越洋服故ニノ同盟罷業ニ大正十年